

② 児童の多様な読み取り方を引き出すための工夫

- ア 理解を深めるための動作化の指導
- イ サイドライン・吹き出し・ワークシートの活用
- ウ 音読、劇などの発表会の取り入れ
- エ 話し合いの場の設定

③ 教師の支援

- ア 挿し絵・具体物・資料などの活用
- イ 板書構成の工夫

(2) 教材分析

- ① 主題のとらえ方 ② 場面分けをし、登場人物の行動と気持ちの分析 ③ 表記・表現の分析

(3) 指導案の形式

学年・組 国語科学習指導案			
年・月・日・曜日	第 校時	5 本時の目標	
場所	指導者	6 指導課程	
1 単元名	学習内容・活動 ※テーマとの関連	時間	○指導上の留意点 ●評価 ※テーマとの関連
2 単元設定の理由			
3 単元の目標			
4 指導計画 (総時数 時間)			

(4) 校内授業の全体参観の仕方の工夫 (学年別に視点を振り分ける)

- ① 本時の目標について (課題把握・まとめ)
- ② 児童の反応 (発言・つぶやき・動作)
- ③ 教師の働きかけ (主な発言・発問など)
- ④ 環境整備について (板書・ガントなど)
- ⑤ テーマとの関わり (ブロック・全体)
- ⑥ 全体を通して (写真記録)

(5) 授業以外の手立て

- ① 教師の言葉づかい
- ② 教師の板書
- ③ 学校掲示及び教室環境

(6) タイム・テーブルの活用

- ① あすかいタイム
- ② 読書タイム

(7) 研究組織

① 組織図

